

アステラス製薬が米社を約 59 億ドルで買収－財務は悪化するが、格付を直ちに見直す必要なし

以下は、アステラス製薬株式会社（証券コード：4503）による米国 Iveric Bio 社買収に関する株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 5 月 1 日、当社は米国のバイオ医薬品企業 IVERIC bio, Inc.（Iveric Bio 社）を当社の子会社を通じて総額約 59 億米ドルで買収することについて、Iveric Bio 社と契約を締結したと公表した。24/3 期第 2 四半期中の買収完了を見込んでいる。Iveric Bio 社は眼科領域の新規治療薬の研究開発に注力するバイオ医薬品企業である。同社の新薬候補物質の Avacincaptad Pegol（ACP）は、地図状萎縮を伴う加齢黄斑変性を対象として米国で承認申請中であり、米国当局から優先審査指定を受けている。本件は 20 年代後半に控える当社の主力製品 XTANDI の独占期間満了を見据えた収益基盤や研究開発基盤の強化施策と位置付けられる。
- (2) 買収資金は手元資金に加え、約 8,000 億円の新規資金調達により賄う予定である。当社はこの資金を今後 5 ～7 年以内に返済可能としているが、買収完了後の親会社所有者帰属持分比率は 50%を下回る（23/3 期末は 61.4%）と想定されるほか、多額ののれんや無形資産の計上も見込まれる。財務構成の悪化は避けられず、格付には下方圧力が生じることとなる。ただ、主力製品から創出されるキャッシュフローには安定感があること、買収後も一定の財務健全性が保たれ中期的に財務改善が期待できること一を踏まえ、JCR は格付を直ちに見直す必要はないと判断した。米国での ACP の審査状況をはじめ本件による研究開発や業績面への効果、財務改善ペースに注目していく。

（担当）本西 明久・佐藤 洋介

【参考】

発行体：アステラス製薬株式会社

長期発行体格付：AA+p

見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル